



2025年6月
議会報告

立川市議会議員 あべみさ REPORTNo.10 2025年7月20日
発行責任者 阿部 美砂 (所属会派: 立憲ネット緑たちかわ)



立川・生活者ネットワーク
〒190-0004 立川市柏町 4-6-21 (新住所)
TEL: 042-535-9110
FAX: 042-535-9116

困難を抱える女性への支援強化求める

【一般質問から】 新法施行から1年、市の対応を質問

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(女性支援法)の施行から4月で1年。支援法は、性暴力やDV、経済的困窮、介護・子育ての重い負担など、さまざまな困難を抱える女性を支援する施策の推進、**女性が安心・自立して暮らせる社会の実現**を目指しています。

支援を国や自治体の責務と明記していますが、具体的な取り組みは各自治体の判断に委ねられています。では立川市はどうなのか。支援体制の現況と今後の取り組みなどについて質問しました。

市の答弁

「昨年度、女性相談支援員を1人増員」「4月1日付で新たに設置した支援調整会議などを通じ、庁内外の関係部署との連携強化を図っていきたい」「支援内容・相談窓口の情報提供等に取り組む」

支援員の更なる増員や担当部局の設置、理解を広げるための全庁的研修の実施など、支援体制の一層の強化を求めました。

断水時に生活用水に使える井戸設置を!

【一般質問から】 災害時に備え各避難所に

能登半島地震でも生活用水確保が大きな課題となりました。また、政府が3月に公表した「災害時地下水利用ガイドライン」では、緊急時の井戸水・湧水などの重要性が改めて指摘されています。PFASによる地下水汚染の問題はありますが、災害に伴う断水時に限定し、**非常時の飲用以外の生活用水として利用するのは可能だと考えます**。代替水源についての市の考えを問うとともに、**避難所に手押しポンプの井戸を設置するよう求めました**。

市の答弁

「一次避難所の小中学校では、プールや防火水槽の活用を考え、現状、井戸を掘る考えはない」

いざという時の生活用水の確保は重要です。引き続き井戸の設置を求めています。

災害時生活用水としての給水拠点となっている国分寺市の公園内の井戸→



米軍横田基地内の貯水池に溜まっていた PFAS 汚染水について質問

【委員会質問から】



米軍横田基地の消火訓練施設の貯水池に溜まっていた PFAS 汚染水を、活性炭で PFAS 濃度を下げ、排水路に放流すると今年4月に、米軍から説明があったことについて質問。従来は焼却処理としていたが、活性炭で濃度を下げ放流するとした件は、すでに汚染水

は、6/17までに全て雨水排水路に放流されていました。2021年沖縄県普天間基地でも同じような活性炭で PFAS 濃度をさげて放流しましたが、下水では高濃度の PFAS が検出されました。市民の健康にかかわる問題として引き続き注視していきます。

<環境まちづくり委員会> ■ 6月議会から「環境建設委員会」が「環境まちづくり委員会」に改称され、これまで厚生産業委員会が所管していた産業振興なども所管することになりました。農業分野も担当に。

その他の議会報告

- **地球温暖化対策！立川市が「ゼロカーボンシティ宣言」**。議案として議会に提出され、可決されました。

残念ながら26市の中では最後に。

- 市民団体提出の『**日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准することを求める**』意見書提出に関する陳情について、本会議で会派を代表して賛成討論を行いました！ 陳情は賛成多数で採択され、核禁条約への署名・批准を求める意見書を、立川市議会として政府に送ることになりました！！